

リンドウこぶ症の発生実態

福島県農業総合センター 生産環境部作物保護科

1 部門名

花卉－リンドウ－病害虫発生

2 担当者

鈴木洋平・宍戸邦明・堀越紀夫・平子喜一

3 要旨

リンドウこぶ症が発症すると、節部や根部にこぶが形成されるほか(図1)、節間短縮、葉の黄化などの症状が現れ、商品価値が著しく低下することから、大きな問題となっている。そのため、2005年から2010年にかけて、リンドウこぶ症の発生実態及びその原因究明を行い、県内での発生実態及び特徴を明らかにした。

- (1) 2010年までの現地調査で、県内の主要産地にリンドウこぶ症の発生を確認した(表1)。
- (2) 被害株は、ほ場外周部に多く見られ、中央部ほど少ない傾向が認められた。本症が一度発生すると年々著しくなる。定植3年目以降の株では、株年数に関わらず発生し、多発ほ場に補植した場合は定植年から発生する事例も確認された(表1、2)。また、葉の黄化、節間短縮、節部のこぶ、根部のこぶなどの症状に程度の差はあるものの、大きな品種間差は認められない(図1、表1)。
- (3) 2008～2009年には、リンドウこぶ症発生株の根部にダイズネアブラムシが高率で確認できる。さらに、2009年には、こぶ症発生株からのみGentian kobu-syo association Virus(リンドウこぶ症関連ウイルス)が検出された(財団法人岩手生物工学研究センターに依頼)。しかしながら、2010年の現段階で、ダイズネアブラムシ及びこのウイルスが本症の原因かどうか特定できていない。

表1 2006年のリンドウこぶ症発生状況

No	調査地域	品種	年株	調査株数	発病株率(%)	発生場所
1	郡市湖南町	ふくしまかれん	3年株	495	45	ほ場外周部
2	"	尾瀬の夢	3年株	380	0	
3	郡市田村町1	ふくしまみやび	4年株	116	56	ほ場外周部
4	"	ふくしまさやか	3年株	116	4	ほ場外周部
5	郡市田村町2	ふくしまかれん	5年株	148	50	ほ場外周部
6	郡市田村町3	尾瀬の夢	5年株	286	100	ほ場外周部
7	田村市大越町	ふくしまかれん	3年株	300	0	
8	猪苗代町	えぞ系	4年株	100	100	
9	南会津町小館岩1	ドリーム(彼岸)	5年株	360	73	ほ場外周部
10	南会津町小館岩2	ドリーム(彼岸)	4年株	366	0	
11	只見町梁取1	ふくしまかれん	5年株	645	0	
12	只見町梁取2	えぞ系(早生)	5年株	600	0	
13	只見町梁取3	えぞ系(彼岸)	5年株	510	0	



写真 リンドウこぶ症発生株

表2 リンドウこぶ症の特徴

	発病株	健全株
ほ場での発生様相	ほ場外周部に多い	-
品種	品種に関わらず発生	-
株年数	定植3年目以降の株で年数 に関わらず発生	-
ダイズネアブラムシ	高率で確認される	確認されていない
リンドウこぶ症関連ウイルス:	陽性	陰性

注 リンドウこぶ症関連ウイルスの検定は、財団法人岩手生物工学研究センターに依頼した。

4 主な参考文献・資料

- (1) 平成18年度～22年度センター試験成績概要